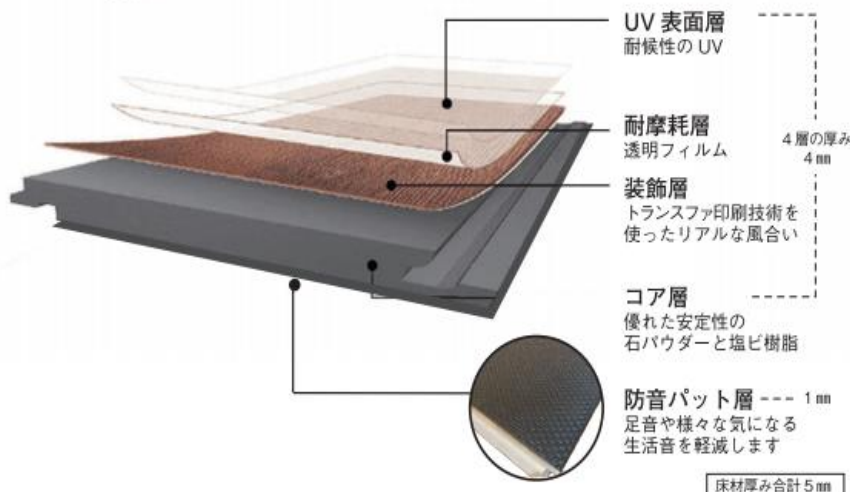


G-ROCK 施工マニュアル



■ 構造



■ カラーバリエーション



GROOVE Co., Ltd

GROOVE CO.,LTD

注意事項

※ G-ROCKを安全に施工して頂くために、**施工前**にご必読お願い致します。



注 意

- G-ROCKの逆張り不可。オスサネをメスサネにはめ込む方向で施工して下さい。
- G-ROCKの設置前に部屋の割付確認をお願いします。
- 施工前に下地の掃除を行い、不陸が無いが異物などが無いが確認の上、設置施工をお願い致します。
- 壁面の全周に指定の両面テープで跳ね上げ防止と防水の為、取り付けて下さい。
- サネのロックは確実にめ込み、ジョイント部はゴムハンマーで叩いて馴染ませてください。
- サネがはまらない場合は、ゴミがかんでいる可能性がありますので清掃してからめ直してください。
- 壁面からのクリアランスは5mmを確保してください。
- クリアランス部分は巾木で収めて頂くことが標準施工となります。
- 加重制限：点加重50kg以内となります。加重制限を超えると破損の原因となります。
- 長手方向の最大寸法は8000mmまでとなります。超える場合は見切り等を入れてください。
- **サネ部分への釘・ビス打ちは厳禁です。**
- G-ROCKに直行する方向でのビス留め（短手方向のビス留め）は不可です。
- ※ **長手方向は下穴を広めにあけ、伸縮しても対応できる場合は可能です。（ビスで固定することはNG）**
- 膨張率：＜表面温度10℃～65℃＞ 線膨張率 最大値1.23mm/1000mmあたり。
- 両面テープ：ブチルタイプ幅6mm以下・厚み0.8mm以下の物を使用してください。
- G-ROCK裏面（防音パット層）に接着剤を塗布して敷設する方法は厳禁となります。
- 床表面が直射日光により高温になる箇所は、短手のサネに接着剤を使用して一体化させてください。
- 長手のサネへの接着剤使用は、膨張と収縮の妨げとなるため厳禁となります。
- **キッチンなど重量物が置かれ伸縮の妨げとなる配置での施工は厳禁となります。**
- 施工マニュアルは安全に施工して頂く為に、守って作業してください。※ マニュアルは保証基準ではありません。

施工方法についてご質問がある場合は、下記までお問合せください

株式会社GROOVE 工事部

nagoya-groove@fuga.ocn.ne.jp

ご回答に2営業日ほど要する場合がございます。

ご質問・ご相談はお時間に余裕をもってご連絡頂きますようお願い申し上げます。

G-ROCKの割付

Figure 1: A detailed diagram of a 10-story building facade showing a grid of windows and columns. The grid is 10 stories high and 1065 units wide. The columns are labeled A, B, and C. The windows are labeled A, B, and C. The diagram includes dimensions for the grid (1065, 1220, 1220) and the window heights (180, 180, 180, 180, 180, 180, 180, 180, 180, 180). The diagram also shows a section of the building with a sloped roof and a section with a flat roof. The diagram is labeled 'Figure 1' and 'Figure 2'.

※乱張りはジョイント部が前の列に対して必ず150mm以上ずらして設置して下さい。

G-ROCKの割付

G-ROCKのカット

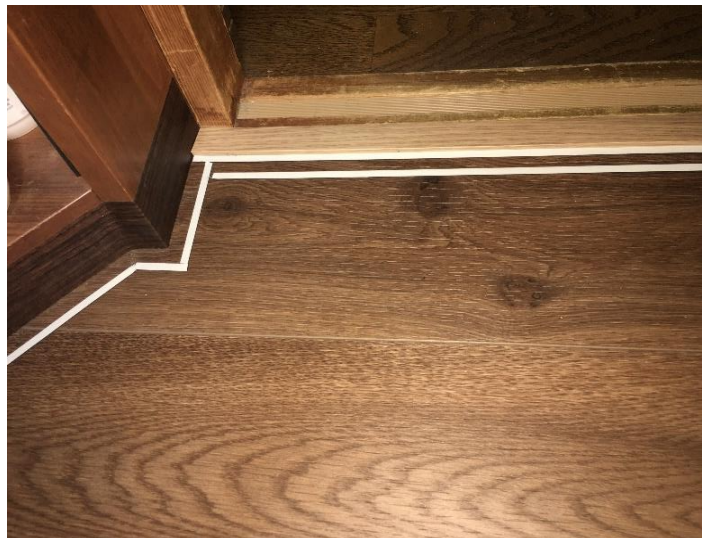


※詳細は別紙「よくあるご質問」を必読下さい。

4

G-ROCKの設置

壁面の外周、約20mmの場所に両面テープを貼る。



5

G-ROCKの設置

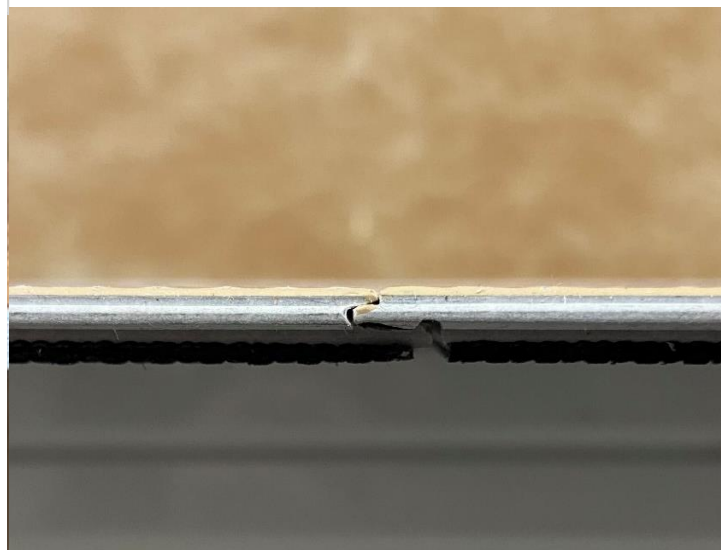
クリアランスを取りながら敷き込んでいく。



※ 両面テープ：ブチルタイプ幅6mm以下・厚み0.8mm以下の物を使用してください。

6

G-ROCKの設置



G-ROCKは隙間なくはめ込んでください。

隙間がある場合は跳ね上げやサネの破損に

つながる場合が御座います。

別ページ「設置の悪い見本」を併せてご確認ください。

※サネ部分は必ずゴムハンマーで叩いて施工してください。

敷設方法の詳細は動画にてご紹介中📺

※右記QRコードを読み込んでお確かめください



※ サネがはまらない場合は、ゴミがかんでいる可能性がありますので清掃してからはめ直してください。

※ ゴムハンマーでしっかりサネをたたいて施工しない場合。サネ部の隙きや浮きの原因となります。

※ サネをはめ込む際・ゴムハンマーで叩く際は水平ではなく角度をつけてはめ込んでください。

6

G-ROCKの設置



G-ROCKをはめ込む際は、左図の通りメスサネに向かってオスサネをはめ込んでください。

また、はめ込む際は角度を付けて下さい。水平のままではしっかりとハマらず、サネ部分に隙間や割れが発生し突き上げ等の原因になりますのでご注意ください。

施工時に使用するその他の部材【両面テープ（標準仕様）】

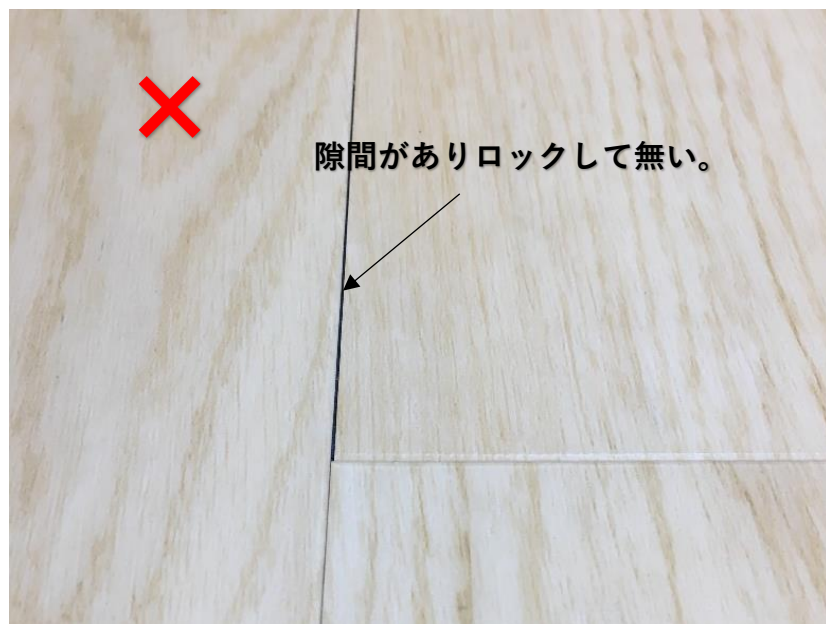
日東電工 N0541 6mm幅（厚さ0.8mm）



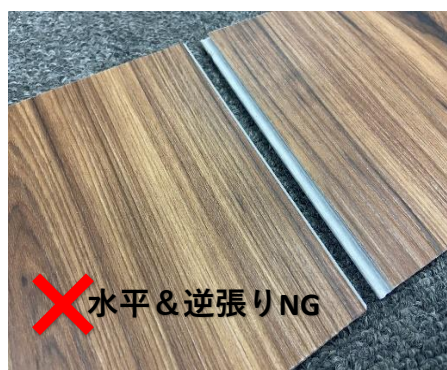
両面テープ：
ブチルタイプ幅6mm以下
厚み0.8mm以下
の物を使用してください。

G-ROCK設置の悪い見本

サネが完全に入りきっていない状態。

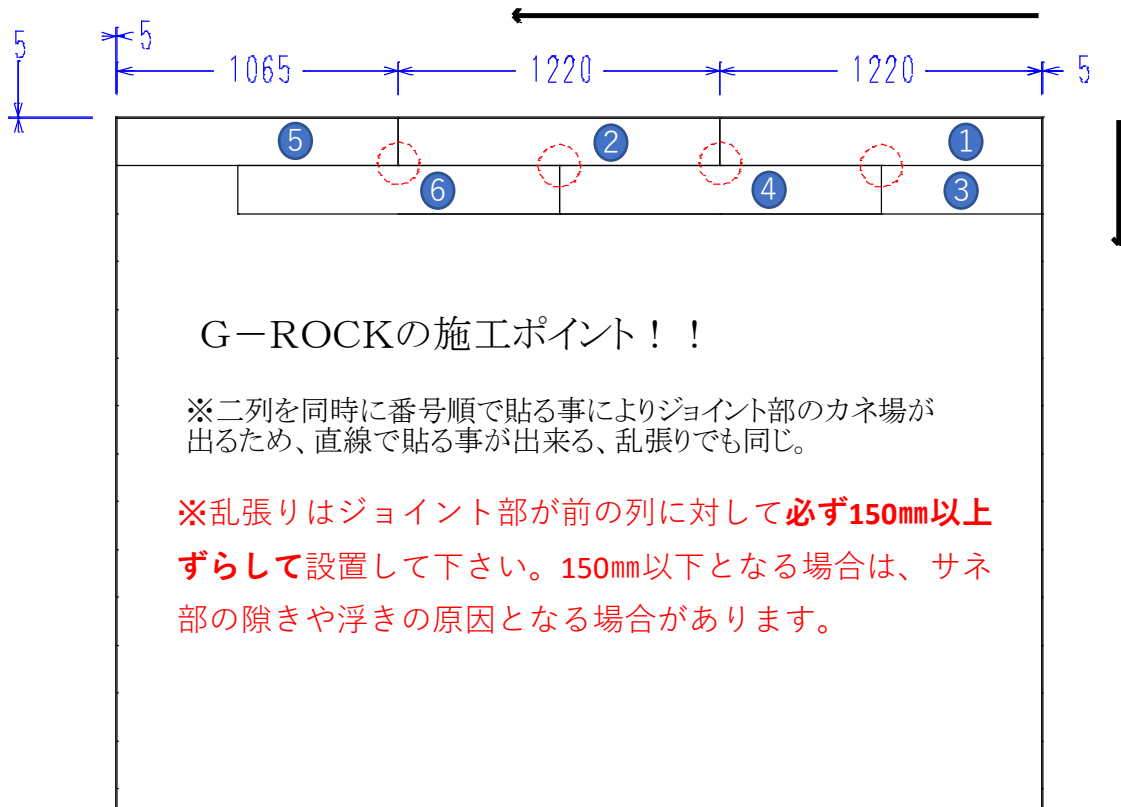


サネがはまらない場合は、ゴミがかんでいる可能性がありますので清掃してからはめ直してください。
はめ込み方法を誤ると、サネ部分に隙間や割れが発生し突き上げ等の原因になりますのでご注意ください。



G-ROCK設置のコツ

設置に歪みが無く、直線で貼るポイント。



G-ROCK の特徴

夏はひんやり、
冬はあったか

- 天然石パウダーを主成分としているため、夏はひんやりとした肌心地。また、石は熱伝導が高く蓄熱性があるので、床暖房と併せるとより快適・効率的に暖かさを実感できます。

施工が簡単

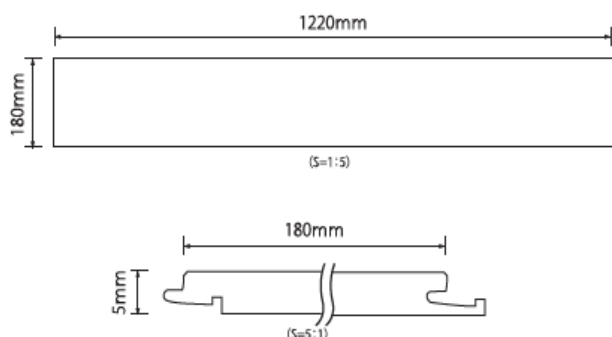
- カッターで切断することも可能。
- 釘打ち、接着剤不要！<はめ込む>だけで誰でも簡単にスピーディに施工が可能。
- 大掛かりな工事の必要なく、DIY 感覚で気軽に設置できます。

水や傷に強く、
お手入れ簡単

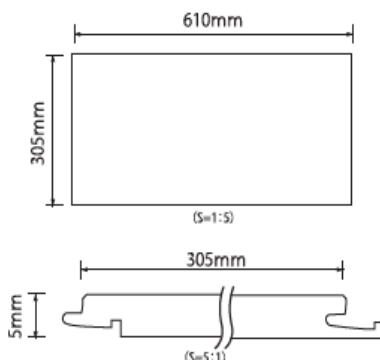
- 大理石の様に傷に強く、防水性に優れています。
- ワックスがけも不要。汚れも染み込まずサッと拭いてお手入れも簡単です。
- 変形しにくい素材を採用しているため、長くと愛用いただけます。

G-ROCK スペック

■木目調



■石目調



■木目調

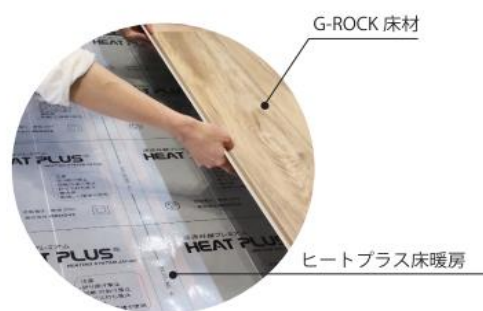
サイズ	長さ 1220mm 幅 180mm 厚み 5mm
1 ケース	10 枚入り (2.2 m ²)
重さ	1.72kg / 枚 17.2kg / ケース

■石目調

サイズ	長さ 610mm 幅 305mm 厚み 5mm
1 ケース	10 枚入り (1.86 m ²)
重さ	1.46kg / 枚 14.6kg / ケース

G-ROCKと床暖房 HEATPLUS との相性

1. 一般的な木製フローリングに比べて熱伝導・蓄熱性が高いため、床暖房の暖かさをより実感できます。
2. 床暖房も G-ROCK も自由にカットできるから、住まいのあらゆる場所に設置可能。
3. 床暖房 HEATPLUS の厚さ 0.5mm G-ROCK の厚さ 5mm、どちらも超薄型なので重ね張りしやすく、マンションなど天井高を気にするリフォームに最適。



※施工については、メーカーへ別紙「施工要領書」をお問い合わせ頂き、ご必読のうえ行ってください。

【使用上の注意事項】

- 製品・施工に関してのご注意
 - ・同一の柄でも色や木目などが多少異なります。・凹凸の激しいところでは、設置できません。床鳴り / 不陸の原因となります。
- 水分・湿気に関してのご注意
 - ・適正室内温度は 18℃～23℃以下です。最高温度 35℃、適正湿度は 45%～55% で使用ください。
 - ・水・湿気が付着したら、すぐにふき取ってください。植木鉢は必ず受け皿を使用してください。
- お手入れに関してのご注意
 - ・表面はコーティング加工してありますので、ワックスは不要です。ワックス使用の場合、効果が表れない場合、一部変色の場合がありますのでお問合せください。
 - ・土足での使用の場合、砂、埃、土等が入らないように御注意ください。
- キズに関してのご注意
 - ・重量物の移動、落下による傷や割れる場合がございますので、御注意ください。
 - ・重量家具、ピアノ、キャスターは床材のジョイント部の真上に設置しないようにしてください。

総販売元：株式会社GROOVE

本社
〒220-0072 横浜市西区浅間町1-4-3ウィザードビル403
TEL：045-290-3884 FAX：045-290-3885

東京支店
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5-24-15オックス西新宿4F
TEL：03-6383-3992 FAX：03-6383-3994

名古屋支店
〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須3-10-19ヒルズ大須4F
TEL：052-253-9273 FAX：052-253-9274
E-mail：nagoya-groove@fuga.ocn.ne.jp
<http://www.heatplus.jp/>

大阪支店
〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-26天神第一ビル101-1
TEL：06-6459-9135 FAX：06-6459-9136

福岡支店
〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目7-14ボイス博多606号
TEL：092-292-6524 FAX：092-292-6525

販売元：

G-ROCKフロア よくあるご質問 ①

Q. G-ROCKを重ね貼りする場合、何mmほど床の高さが上がりますか？

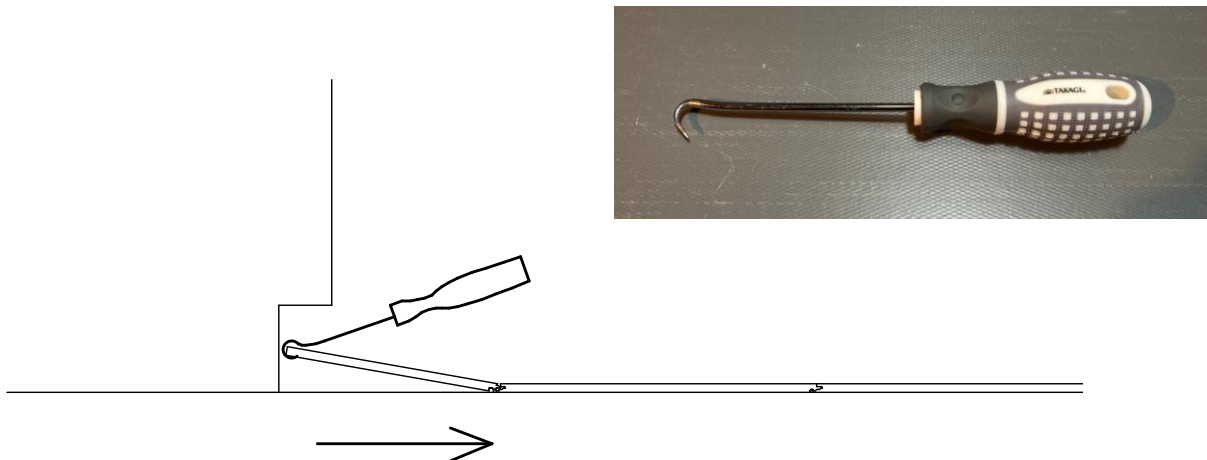
A. 下地から5mm上がります。なお、L型見切り材を使用した場合、端部は下地から7.3mm上がります。

Q. 玄関部分に敷設する予定です。框部分はどうすれば良いですか？

A. 市販されている一般的なリフォーム框をご使用ください。

Q. 狭い場所ではめ込みずらい時のコツはありますか？

A. 下記写真のような工具（千枚通しがフック状になったような物）を床材の端部に引っ掛け、床材を寄せて頂くとスムーズにはめ込めます。※コツ：はめ込み確度13℃ほど



Q. 下地が凸凹していますが重ね貼りしても大丈夫でしょうか？

A. 下地が構造合板の場合、段差1mm以上あると不陸となる場合が御座います。
下記の条件ですとサネが割れてしまうため施工できません。

- ・ 1 mの金定規を当てて不陸が4mm以上ある
 - ・ 歩いた際の沈み込み（連動不陸）が直径50cmの範囲で4mm以上沈む ※不陸の状況により条件は変動します
- ※既存の床材に弾力性や不陸がある場合は、重ね貼りしないでください。

上記に該当しない状況にて施工を推奨いたします。

Q. G-ROCK床面へのビス打ちは可能でしょうか？

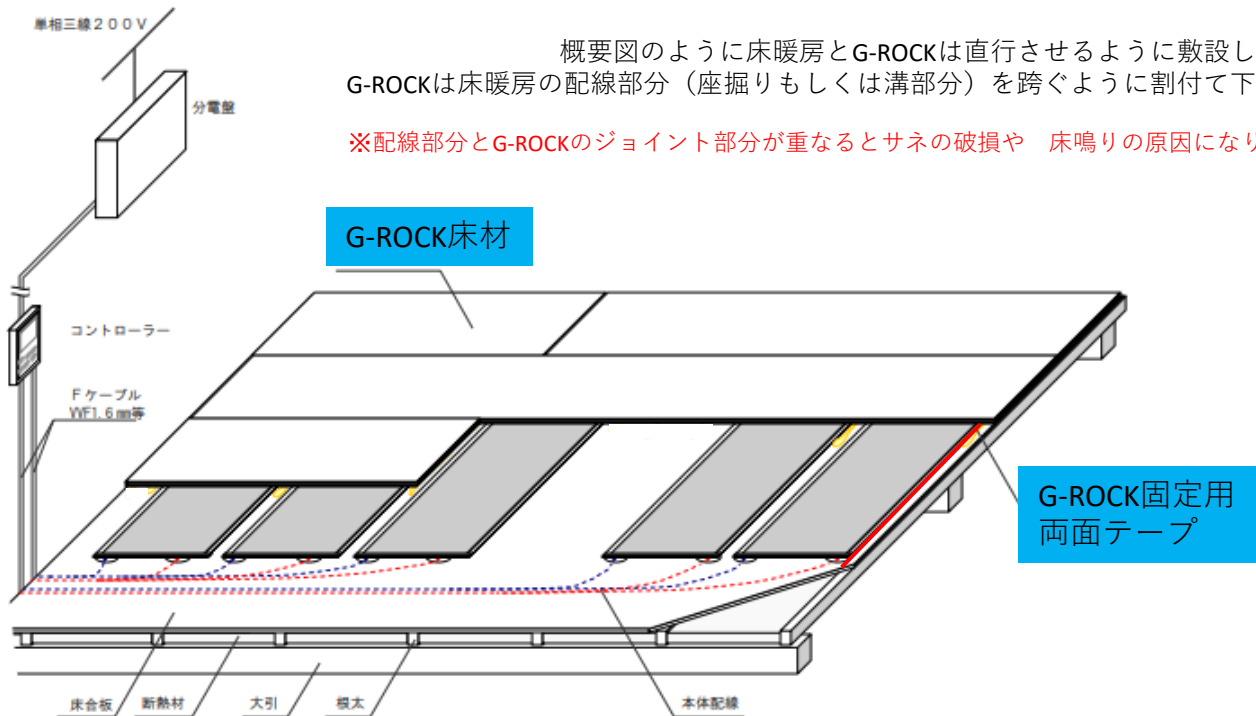
A. G-ROCKに直行する方向でのビス留め（短手方向のビス留め）は不可です。
長手方向は下穴を広めにあけ、伸縮しても対応できる場合は可能です。（ビスで固定することはNG）
ただし、サネ部分の釘・ビス打ちは不可となります。

Q. 床下収納への施工はどうすれば良いですか？

A. 強度確保のため、下地に12mm以上の構造合板を設けて下さい。

G-ROCKフロア よくあるご質問 ②

概要図



Q. どのようにして床暖房ヒートプラスと併せて施工しますか？

概要図のように床暖房とG-ROCKは直行させるように敷設します。
G-ROCKは床暖房の配線部分（座掘りもしくは溝部分）を跨ぐように割付て下さい。

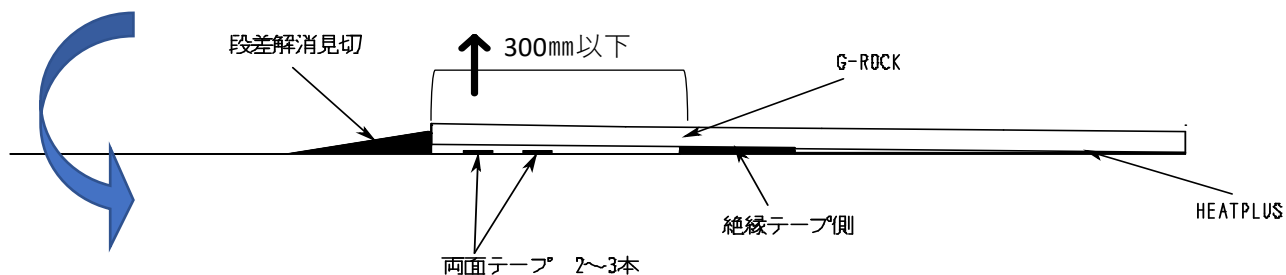
※配線部分とG-ROCKのジョイント部分が重なるとサネの破損や 床鳴りの原因になります。

Q. 床暖房ヒートプラスと併せて施工する際の注意点はありますか？

A. 段差解消見切りと床暖房ヒートプラスの絶縁テープ側が300mm以上離れるように割付してください。
300mm以上離せない場合は、下記図の通り絶縁テープの下に溝を掘って平滑となるように収めてください。 ※溝のサイズ例：深さ2mm幅30mm

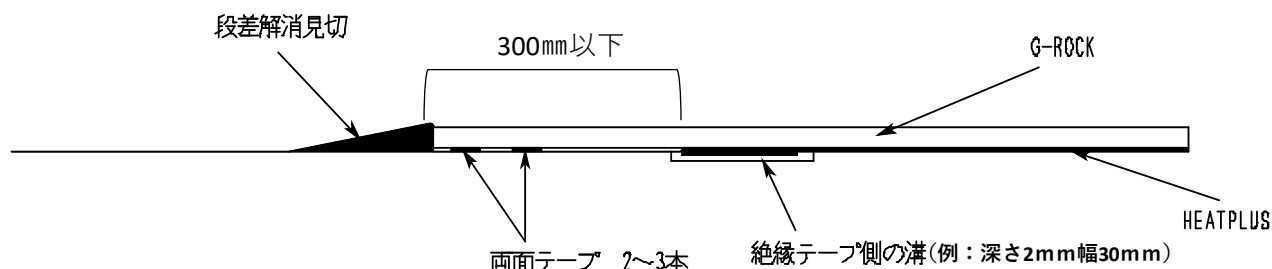
悪い施工例（溝掘りしない）

両面テープで一時的に収まっても跳ね上がってくる場合がある



正しい施工例（溝掘りする）

溝を掘って絶縁テープ部分を収め、平滑となる事で跳ね上がりを解消する

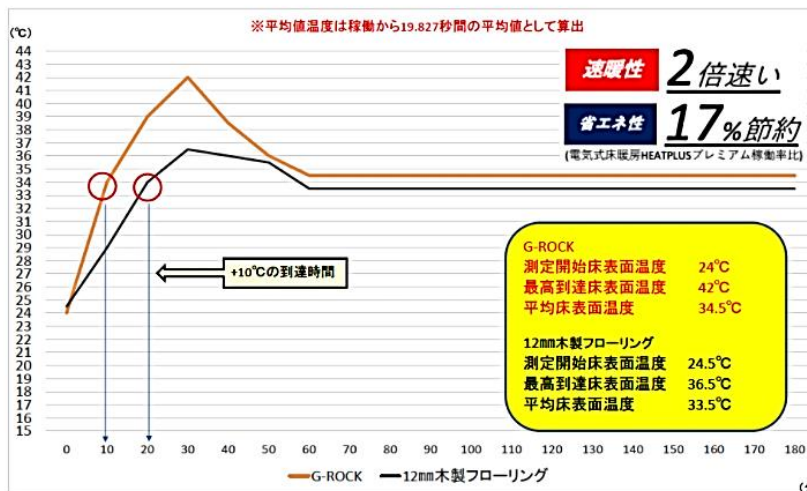


G-ROCKフロア よくあるご質問 ③

Q. 一般的な12mmの床暖房対応フローリングとG-ROCKではどのような違いがありますか？

A. G-ROCKは速暖性と省エネ性に優れています。試験環境下において12mmフローリングと比較したところ下記のような結果が実証されました。

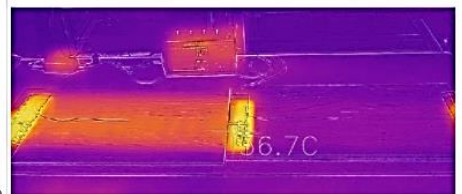
速暖性	G-ROCKは床表面温度+10℃まで10分で到達。12mm木製フローリングは床表面温度+10℃まで20分で到達。よって、G-ROCKは12mmフロアと比べて2倍の速さで快適な温度まで到達し、速暖性に優れています。
省エネ性	G-ROCKの平均床表面温度は34.5℃ 12mm木製フローリングは33.5℃。1℃の違いは1段階下の消費電力に相当するため、12mm木製フローリングにおける4Lの平均床表面温度は、G-ROCKにおいて3Lで到達できると考えます。稼働率でいえば約9%、7.56㎡の敷設の場合1ヵ月831円の省エネを実現します。よってG-ROCKは省エネ性に優れています。



熱伝導率測定器(LG900)測定結果



産業技術センター試験体設置画像



開始5分後のサーモグラフィ画像 ※左側がG-ROCK

★G-ROCKに関するご質問・ご相談は下記までお問い合わせください★

株式会社GROOVE 担当：加藤

MAIL：nagoya-groove@fuga.ocn.ne.jp

後ほど担当より折り返しご連絡いたします。